

2016-2017 シーズン フィギュアスケート国際競技会派遣選手選考基準

国際競技会派遣選手は、以下の選考基準に従い、強化部において候補を決定し、フィギュア委員会及び理事会、選考委員会の承認を経て確定するものとする。

1. ジュニアグランプリシリーズ

(1) 男女シングル

6 月に開催する派遣選手選考会における、選考会課題・演技・国際競技力を総合考慮して選考する。

(2) ペア、アイスダンス

6 月に開催する派遣選手選考会にて、国際的な競技力を総合考慮して選考する。

2. 世界ジュニア選手権大会

(男子シングル 2 枠、女子シングル 3 枠、ペア、アイスダンス各 1 枠)

(1) 男子シングル

- ① 1 人目は全日本ジュニア選手権大会優勝者を選考する。
- ② 2 人目はジュニア対象年齢で派遣希望のある選手の中で、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して選考する。
 - A) 全日本ジュニア選手権大会 3 位以内の選手
 - B) ジュニアグランプリファイナル出場者
 - C) 全日本選手権大会参加者のうち上位 3 名
 - D) 全日本選手権大会終了時点での I S U ワールドスタンディング上位 3 名
 - E) 全日本選手権大会終了時点での I S U シーズンベストスコア上位 3 名

(2) 女子シングル

- ① 1 人目は全日本ジュニア選手権大会優勝者を選考する。
- ② 2 人目及び 3 人目はジュニア対象年齢で派遣希望のある選手の中で、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して選考する。
 - A) 全日本ジュニア選手権大会 3 位以内の選手
 - B) ジュニアグランプリファイナル出場者
 - C) 全日本選手権大会参加者のうち上位 3 名
 - D) 全日本選手権大会終了時点での I S U ワールドスタンディング上位 3 名
 - E) 全日本選手権大会終了時点での I S U シーズンベストスコア上位 3 名

- ※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。
ただし、過去に世界ジュニア選手権大会3位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、世界ジュニア選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。
- ※ 代表候補に選出された選手が当該競技会出場のためのミニマムポイントを持っていなかった場合、ミニマムポイント獲得のために国際大会に派遣する。
- ※ 候補選手となるには、当該年度のいずれかの競技会(ショートプログラム)で、当該年度のジュニアのショートプログラム課題を実施し、十分な得点を獲得出来る実力を示していることが必要である。

(3) ペア、アイスダンス

国際的な競技力を考慮して選考する。

- ※ 最終選考会である全日本ジュニア選手権大会への参加は原則必須である。
- ※ 代表候補に選出されたが当該競技会出場のためのミニマムポイントを持っていないカップルは、ミニマムポイント獲得のために国際大会に派遣する。

3. 世界選手権大会 (男女シングル各3枠、ペア、アイスダンス各1枠)

(1) 男女シングル

- ① 1人目は全日本選手権大会優勝者を選考する。
- ② 2人目は、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して選考する。
 - A) 全日本選手権大会2位、3位の選手
 - B) グランプリファイナル出場者(①の選手を除く)上位2名
- ③ 3人目は、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して選考する。
 - A) ②のA)又はB)に該当し、②の選考から漏れた選手
 - B) 全日本選手権大会4位～6位の選手
 - C) 全日本選手権大会終了時点でのISUワールドスタンディング上位3名
 - D) 全日本選手権大会終了時点でのISUシーズンベストスコア上位3名

- ※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。
ただし、過去に世界選手権大会3位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、世界選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

(2) ペア、アイスダンス

国際的な競技力を考慮して選考する。

- ※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は原則必須である。
- ※ 代表候補に選出されたが当該競技会出場のためのミニマムポイントを持っていないカップルは、ミニマムポイント獲得のために国際大会に派遣する。

4. 第8回アジア冬季競技大会

(1) 男女シングル

- ① 1人目は全日本選手権大会優勝者を選考する。
- ② 2人目は、参加資格のある選手の中で、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して選考する。
 - A) 全日本選手権大会上位6名
 - B) 全日本選手権大会終了時点でのISUワールドスタンディング上位6名
 - C) 全日本選手権大会終了時点でのISUシーズンワールドランキング上位6名
 - D) 全日本選手権大会終了時点でのISUシーズンベストスコア上位6名

- ※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。
ただし、過去に世界選手権大会8位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となっただけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、アジア冬季競技大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。
- ※ JOCへ候補選手手続きを済ませており、指定期日までにアジア冬季競技大会派遣前チェックを受けることが必須である。

(2) ペア、アイスダンス

国際的な競技力を考慮して選考する。

- ※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は原則必須である。
- ※ JOCへ候補選手手続きを済ませており、指定期日までにアジア冬季競技大会派遣前チェックを受けることが必須である。

5. 四大陸選手権大会

(1) 男女シングル

全日本選手権大会終了時に、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して選考する。

- ① 全日本選手権大会10位以内
- ② 全日本選手権大会終了時点でのISUワールドスタンディング上位6名
- ③ 全日本選手権大会終了時点でのISUシーズンワールドランキング上位6名
- ④ 全日本選手権大会終了時点でのISUシーズンベストスコア上位6名

- ※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。
ただし、過去に世界選手権大会3位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となっただけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、四大陸選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。
- ※ 代表候補に選出されたが当該競技会出場のためのミニマムポイントを持っていない選手は、ミニマムポイント獲得のために国際大会に派遣する。

(2) ペア、アイスダンス

国際的な競技力を考慮して選考する。

- ※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は原則必須である。
- ※ 代表候補に選出されたが当該競技会出場のためのミニマムポイントを持っていないカップルは、ミニマムポイント獲得のために国際大会に派遣する。

6. 第28回ユニバーシアード冬季競技大会

12月初旬に開催予定の派遣選手選考会において、派遣選手を選考する。
なお、選考方法の詳細は大会詳細が発表され次第、追って通知する。

- ※ JOCへ候補選手手続きを済ませており、指定期日までにユニバーシアード冬季競技大会派遣前チェックを受けることが必須である。

7. 世界シンクロナイズドスケーティング選手権大会

国際的な競技力を考慮して選考する。

8. 国別対抗戦 2017

原則としてISUの定める選考方法（世界選手権大会終了時のワールドスタンディング上位2名、ペア、アイスダンス各1組）に従う。

9. その他の国際競技会派遣

- ・ ノービス国際競技会については、全日本ノービス選手権大会の上位選手を選考対象とする。有望新人発掘合宿で選考する場合もある。
- ・ 国際競技会については、事前に調査した上で、強化方針に従って選考する。なお別途選考会を開催する場合もある。

以上